

◎基本情報

事務事業名	史跡等地域文化財保存活用事業		担当部署	教育委員会 生涯学習人權課	
総合計画体系			根拠法令 計画など	文化財保護法	
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり	事業 期間	開始	平成 <input type="text" value=""/> 16 年度
政策(中項目)	2	伝えたい 魅力あふれるまち なんと			終期
(小項目)		文化財			
施策	4	文化財の保護と活用			
基本事業	2	文化財の保護と活用			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 ①国指定史跡「鳴門板野古墳群」 ②「板東俘虜収容所跡」 ③市域内出土収集文化財														
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	①国指定史跡「鳴門板野古墳群」の保存活用 ②「板東俘虜収容所跡」の国指定史跡化 ③市域内出土収集文化財の展示・収蔵施設の整備と活用														
事業計画	29年度に何を計画していたか	①「鳴門板野古墳群」の国指定史跡化と、指定に伴う普及活用事業(展示会・見学会等)の実施や案内表示等の整備に関する検討 ②「板東俘虜収容所跡」の国指定史跡化に向け、土地所有者の同意書を取得した後、文科省へ申請書を提出 ③市域内出土収集文化財の整理および活用														
成果目標	事業目標の達成度合	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> <th>32年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>史跡等地域文化財の保存活用割合</td> <td>10</td> <td>20</td> <td>30</td> <td>30</td> <td>30</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	単位	史跡等地域文化財の保存活用割合	10	20	30	30	30	%
指標名	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	単位										
史跡等地域文化財の保存活用割合	10	20	30	30	30	%										

◎実施結果(DO)

事業実施内容	29年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	①国指定史跡「鳴門板野古墳群」について、市立図書館で展示会を開催したほか、「大代古墳」の一般公開を実施した。 ②「板東俘虜収容所跡」の国指定史跡化に向け、土地所有者の同意書を取得した後、文科省へ申請書を提出した。 ③収蔵している民俗文化財(農具)の貸し出しや出前講座での紹介をおこなった。																																						
事業実施手法	<input type="checkbox"/> 市実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他																																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">指標名</th> <th>28年度実績</th> <th>29年度実績</th> <th>30年度目標</th> <th>31年度目標</th> <th>32年度目標</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">活動指標 実施した事業の活動量を示す指標</td> <td>1 「鳴門板野古墳群」の国指定史跡化(28年度まで)および保存活用(29年度以降)</td> <td>100</td> <td>10</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>2 「板東俘虜収容所跡」の国指定史跡化</td> <td>80</td> <td>90</td> <td>100</td> <td></td> <td></td> <td>%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標</td> <td>史跡等地域文化財の保存活用割合</td> <td>10</td> <td>20</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>目標達成率(実績/目標)</td> <td></td> <td>100.0</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>			指標名		28年度実績	29年度実績	30年度目標	31年度目標	32年度目標	単位	活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1 「鳴門板野古墳群」の国指定史跡化(28年度まで)および保存活用(29年度以降)	100	10	20	20	20	%	2 「板東俘虜収容所跡」の国指定史跡化	80	90	100			%	成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	史跡等地域文化財の保存活用割合	10	20	—	—	—	%	目標達成率(実績/目標)		100.0	—	—	—	%
指標名		28年度実績	29年度実績	30年度目標	31年度目標	32年度目標	単位																																	
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1 「鳴門板野古墳群」の国指定史跡化(28年度まで)および保存活用(29年度以降)	100	10	20	20	20	%																																	
	2 「板東俘虜収容所跡」の国指定史跡化	80	90	100			%																																	
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	史跡等地域文化財の保存活用割合	10	20	—	—	—	%																																	
	目標達成率(実績/目標)		100.0	—	—	—	%																																	
今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり																																					

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成29年度	当初予算額	0	33	0	0	600	633
		補正予算額	0	0	0	0	0	0
		繰越予算額	0	0	0	0	0	0
		全体予算額	0	33	0	0	600	633
		決算額	0	33	0	0	541	574
		繰越額	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員(7,234千円/人)	臨時職員(2,492千円/人)	総人件費		総事業費		
	0.8	0.0	5,787	6,361				

事業費推移	年度	28年度決算	29年度決算	30年度	31年度	32年度
	事業費	7,655	574	3,271	1,150	836
	うち一般財源	110	541	3,238	1,117	803
	人件費	5,706	5,787	5,787	5,787	5,787
	総事業費	13,361	6,361	9,058	6,937	6,623

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		①鳴門板野古墳群に関する展示会や見学会を実施できた。 ②板東倭虜収容所跡の国指定史跡の申請を行った。
	効率性	B:概ね効率的だった		史跡の環境整備については、業務委託により必要な作業を進めることができた。
②成果に対する評価	指標名	史跡等地域文化財の保存活用割合		古墳群の普及活用および環境整備に関する取り組みができた。また、収容所跡の国指定史跡の申請を行うことができた。
	目標	20	%	
	実績	20	%	
	評価	A:目標を達成できた		
③総合的な評価		B		古墳群普及活用や環境整備を行うことができ、収容所跡についても国指定史跡の申請を行うことができたが、収集文化財の整理や展示活用は十分行えなかった。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	①史跡指定を受けた古墳群の保存活用計画策定に向けた検討委員会を設置し、有効的な活用方針や整備の基本方針等について検討する。 ②史跡の環境整備事業や、史跡を活用した周知啓発事業を継続して実施する。 ③収容所跡の史跡指定が正式に決定したら、周知啓発事業を実施する。 ④収蔵文化財は、資料の整理を進めるとともに展示や貸し出し等の活用を図っていく必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	4
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H30年度	①古墳群：見学会を行うほか、古墳めぐりウォーキングを実施するとともに、地域との協働による環境整備事業を継続するとともに、保存活用策定に向けた検討委員会を開催する。 ②収容所跡：指定の正式決定後は、記念シンポジウムや現地見学会等の普及活用事業を実施する。 ③収蔵文化財の整理活用を進める。			
	H31年度	①古墳群：展示会や現地見学会などの周知啓発事業を実施するとともに、地域との協働による環境整備事業を継続する。また、保存活用計画策定に向けた検討委員会を開催する。 ②収容所跡：周知啓発事業を実施する。 ③収蔵文化財の整理活用を進める。			